

第7回印西地区環境整備事業組合
印西地区ごみ処理基本計画検討委員会

会議録

開催回数	第7回			
開催年月日	平成26年3月9日(日)			
開催時間	14:00~14:43			
開催場所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室			
出席者	委員長	庄司 元 (学識経験者)		
	副委員長	杉山 涼子 (学識経験者)		
	副委員長	吉本 幸弘 (管理者が必要と認める委員)		
	委員	(住民公募委員) 角館 厚信、高橋 泰、津島 孝彦、岡野 三之、竹下 建一 城戸 マツヨ、横山 次江 (管理者が必要と認める委員) 寺田 義久、長澤 隆壽、北川 義行、宮島 誠一、梅村 隆昭		
	事務局	印西地区環境整備事業組合	事務局長	岩崎 良信
		印西クリーン センター	工場長	大須賀 利明
			主幹	高橋 康夫
			主幹	鳥羽 洋志
	関係市町	技術班	副主任幹	土屋 茂巳
		技術班	副主任査	川砂 智行
業務班		主任主事	赤城 英之	
コンサル	印西市	課長	川嶋 一郎	
	白井市	課長	藤咲 克己	
	栄町	課長	岩崎 正行	
コンサル	(株)環境技術研究所	主任技術者	田中 晴香	
		副担当	今岡 恵美	
		営業部	大塚 俊洋	

※傍聴人：3人

事務局 土屋副主幹

ただ今から第7回印西地区ごみ処理基本計画検討委員会を開会いたします。
初めに庄司委員長からご挨拶をいただきたいと思ひます。お願いいたします。

庄司委員長

皆さんこんにちは、御無沙汰をいたしました。この基本計画検討委員会は、昨年4月21日にスタートしまして、間もなく1年が経とうとしています。非常に長い期間であったようで、あつという間のような気もいたします。月日のたつのが早いものだということは、誰もが口にする言葉ですけれども、このようにスケジュールに従って仕事を進めて参りますと、特に強く感じる次第でございます。本日で7回目の会議となります。この他に視察研修が一日ございました。皆様方におかれましては、とても熱心に色々な観点からご意見などをお願いいたしまして、非常に委員会としては有意義な意見交換ができたものと考えております。また、その結果が本日示された計画案という形となった訳でございます。本当に皆様方長い間、大変お疲れ様でございました。また、私は委員長として取りまとめ役を含めて進行して参りましたが、なかなか不手際で会議の予定時間を大幅に遅れてしまうなどご迷惑をおかけいたしました。本当に申し訳なく思っております。この案については、昨年12月の委員会で承認されまして、パブリックコメントを行った訳ですが、本日の議題でその結果についても報告があると思ひます。その結果を受け修整を行い答申となります。それでは本日は最後の会議となります。最後ぐらいは時間通りに終わりたいと思ひます。終わりよければすべてよし、ということにさせていただきまして、どうか本日の審議のご協力よろしくお願いいたします。

まず初めに議事録署名人ですが、宮島委員と梅村委員をお願いいたします。

それでは議題に入ります。まず第一の議案、用地検討委員会の進捗状況について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 高橋主幹

資料1をご覧ください。用地検討委員会、第9回会議の概要についてご報告させていただきます。第9回会議は12月22日(日)午後から行われました。その中で、こちらの基本計画検討委員会の進捗状況の報告及び中間答申書の案について、を議題として協議していただきました。ごみ処理基本計画検討委員会の進捗状況の報告につきましては、この委員会でよく協議されました将来のごみ処理施設の基本的な方針とそこでの次期中間処理施設の整備事業の基本方針についての中身といたしましては、ごみ量をどのくらい設定するのか、そ

の量には容器包装プラスチック 3000 t 及び災害ごみの 1000 t を見込んでいくということで、ご報告をさせていただきました。すなわち将来の平成 40 年度の推計ごみ量と容器包装プラスチックの 3000 t 及び災害ごみの 1000 t を加えまして、それを基本としたごみ焼却施設の規模といたしましては日量 156 t、リサイクル施設といたしましては日量 15 t の規模を見込むとしたものと説明いたしました。この規模を見込みまして、中間答申書の案ということで示しております。これは用地検討委員会で検討した途中までの結果報告でございます。これは基本的には 1 月から行われております用地の公募における募集要綱の中身について整理をしております。また、この応募された用地の評価方法、評価項目につきましても整理をされております。それらの整理を行いまして昨年 12 月 25 日に中間答申書の授受式を行っております。寺嶋委員長から正副管理者に手渡されました。その中で説明もしております。その後 1 月 6 日から 3 月 31 日まで公募における用地の募集を現在行っているところでございます。募集の方法としましては、募集要綱がございしますが、まずは事務局までお越しいただいて、評価方法や募集の条件などをご理解いただいてから応募用紙をお渡ししております。応募に関する説明を受けて、用紙を受け取られた方々は 5 件ほどございました。しかしながら現在までに応募のあったのは 1 件でございます。これが公募による応募となります。それから用地検討委員会では公募による応募地と構成市町による推薦地があります。基本的には前回推薦地がございましたので、それらの取り扱いや、そのほかにあるかどうかということも構成市町では検討されていると聞いております。その報告が 3 月 31 日まででございます。それと現在地を併せて評価項目を既に設定してございますので、それに沿って評価をしていく予定でございます。以上が用地検討委員会の報告でございます。

庄司委員長

このことについて、なにかご質問やご意見はございますか。

それではないようですので、次の議題のパブリックコメントの結果について事務局の説明をお願いいたします。

事務局 土屋副主幹

パブリックコメントにつきましては、今年 1 月 6 日から 2 月 6 日の 1 ヶ月間実施しました。組合ホームページや構成市町の広報やホームページで周知をいたしましたが、結果として意見は 1 件もございませんでした。意見ゼロというのは他の自治体の例を見ても大変珍しいことのようにです。昨年夏に行った住民アンケートの結果からも 95.3% の印西地区住民はごみの減量やリサイクル

に対して関心があるという結果が出ております。決して関心がなくて意見がゼロということではないように思われます。委員皆様の議論のすえ、作り上げられた基本計画書に対して不足がなかったととらえれば、印西地区住民が納得のいく計画になっているのかもしれませんが。以上で結果報告を終わります。

庄司委員長

このことにつきまして、ご意見、ご質問はございますか。事務局の説明にもありましたように、委員の皆様の多岐にわたる深い議論が熱心に行われた結果であろうと思っております。それでは次に印西地区ごみ処理基本計画（案）について事務局の説明をお願いします。

事務局 土屋副主幹

それではパブリックコメント終了後に、基本計画書の字句の整理をした箇所についてご説明いたします。まず1ページをご覧ください。(1)計画の目的の本文上から4行目の中ほどに「加えて」とありますが、以前は「また」でございました。前後の文章の構成上「加えて」に変更しました。次に51ページをご覧ください。1)基本理念の本文の下から2行目「安全・安心の取り組み強化」とありますが、以前は「安心・安全」でございました。これは安全であるために安心するということで、決まりごとでございます。次に66ページの〈食品ロスの削減〉の(食品ロス率3.6%)とありますが、以前は3.7%となっており、計算に誤りがございました。次に83ページをご覧ください。下段部分の文中95.3%とありますが、以前は64.8%でした。これは単純に非常に関心がある30.5%が抜けておりました。これを加えると95.3%になります。次に94ページをご覧ください。(5)災害対策の強化の下段の文中、「確保しその役割」を「確保し、その役割」に変更しました。また「施設とし、」を「施設とします。また」に変更しました。次に98ページのヘッダー部分の「7.計画の推進」とありますが、以前は「6.計画の施策」でした訂正いたします。ここまでがパブリックコメント以降字句の整理をしたところでございます。皆様にお配りした計画書は既に訂正してございます。また、これから申し上げる箇所につきましては新たに訂正をお願いするところがございます。1ページから50ページまでと97ページ、98ページの下線部分の罫線を全体の統一を図るため削除いたします。次に51ページから67ページのヘッダー部分に全体統一のため「5.ごみ処理基本計画」を追加します。次に80ページから97ページのヘッダー「6.計画の施策」を「6.ごみの減量・資源化の施策」に変更いたします。最後に資料編の36ページですが、(t/年度を)を(t/年)に変更しました。以上でご

ざいます。

庄司委員長

このことについて、何かご意見はございますか。
それでは私から、資料編の t/年度を t/年に変えたのはどうしてなのか。

事務局 土屋副主幹

本編、資料編のグラフ中に表記する単位を統一したためでございます。

庄司委員長

他に皆様からご意見やご質問などは特にないようでございますので、本日の審議そのものは以上で終了となります。本計画検討委員会のやるべきことはこれですべて終了となるわけでございますが、委員の皆様方よろしいでしょうか。
そういったしましたら、事務局から説明された計画書案の修正を行ったものを管理者に答申をするということになります。それではここで検討委員会といたしましては締めさせていただきます。今後の予定について事務局からお願いいたします。

事務局 土屋副主幹

ありがとうございます。今後につきましては、3月17日（月）午後2時からこの場所で、庄司委員長から管理者への答申を予定しております。当日は副管理者も同席いたします。なお、本計画書につきましては、抜粋したものを3月31日に組合の広報に掲載する予定となっておりますので、併せてご報告させていただきます。

庄司委員長

承知しました。本委員会で取りまとめました、この基本計画を答申させていただきます。それでは本日の日程はすべて終了となりますがよろしいでしょうか。

竹下委員

一つお聞きしてもよろしいですか。

庄司委員長

どうぞ

竹下委員

基本計画につきましては、できあがりしましたが今後の予定として次期施設の建て替えに至るまでの全体的なスケジュールはどうなっているのか、お聞かせいただければお願いいたします。

事務局 高橋主幹

今後のスケジュールにつきましては、まだ決まっていませんが、やらなければいけないことということで、ご報告させていただきます。現在同時進行で用地委員会があることは、毎回報告させて頂いているので、ご承知のことと思いますが、用地の公募が3月31日まででございます。その後応募のあった用地、それから市町から推薦のあった用地、それらと現在地を用地検討委員会で比較評価いたしまして、順位づけをいたします。その順位づけをしたものを用地委員会から管理者、副管理者に答申をいたしまして、正副管理者会議により建設候補地を決めます。そして建設候補地が決定した後、その候補地の地元住民に対して、ご理解をいただくための説明会などを行います。そして最終的に地元住民のご理解が得られたという段階におきまして建設予定地と位置付けまして、用地買収、環境影響評価、それから建設に係る発注手続き、そして建設工事というスケジュールで進めたいと考えております。しかしそれらの具体的なタイムスケジュールは決まっておりません。それからもう一点ですが、次期施設が稼働開始するまでの間につきましては、現施設を継続して安定操業していかなければならないということは、この基本計画書にも記載してございます。その継続のために、現施設の改修工事あるいは延命化の対策などについては、現在検討中でございます。今年度現施設の機器等調査委託業務ということで、別途発注しまして、この機器の状況につきまして調査をかけております。その調査結果が出ておりますが、最終的な方向性はまだ定まっておらず、スケジュールについても示すことができません。最終的には次期施設の建設と現施設の延命化、それをどのように位置づけるかは組合において、正副管理者の判断の下、決定していくということにしてございます。今後のスケジュールといたしましては以上でございます。

庄司委員長

他にございますか。

吉本副委員長

1号炉、2号炉は28年経つということですが、3号炉もかなり古くなっておりますので、当然延命化を図らないといけない訳ですね。そうしますと既存

の施設と次期施設の二重投資になる危険性がある訳です。そうしますと莫大な費用がかかるということになる。建設するに際して非常に大きな要素だと思えます。いかにコストを抑えるか、これはムダ遣いになりますからね。延命化だって相当かかるでしょう。そこのところは十分大きなファクターとして、この用地を決めるときのファクターとして位置づけておいていただきたいと思えます。

事務局 高橋主幹

ご指摘の通りでございます。費用がかかるという面において、できるだけコストを抑えるという方向で考えております。今後どのような最終決定になるか検討中でございます。いただきましたご意見などを管理者にも伝えながら、検討して参りたいと思っております。

吉本副委員長

一昨年の市長選挙では、コストがかかるからということで、安いところでやろうということで新しい市長が生まれた訳ですよ。ですからそこが非常に大きなファクターとして、考えるべきだと思います。それからもう一つ、この基本計画にも書いてありますように、余熱を十分利用するという事になっている。そうするとやはりロケーションというのは、人の集まりやすい中心地に近い所が優先されるべきではないかと思えます。今どこが出てきているのかは分かりませんが、あんまり辺りなところだと余熱利用というのはできなくなりますから、その辺はどのように考えるのか。

事務局 高橋主幹

用地検討委員会では、余熱の利用などについては地域振興事業ということの中で評価をする予定となっております。もちろんそのようなことを十分認識したうえで委員会で評価されるものと考えております。

吉本副委員長

ぜひお願いしたいと思います。

竹下委員

延命化対策について、具体的にお聞きしたいのですが、これから新設の工場を作るとなると、少なくとも10年ぐらいはかかると思えます。そうしますと現施設が現在28年目ということですから、40年近く稼働することになります。通常今までメンテナンスしたコストとそれに比べて特に大きく費用がかか

るものが出てくるのか。急に大きくかかるものなどがあるのでしょうか。

事務局 高橋主幹

現施設の機器等調査の報告書の内容を簡単に申し上げますと、ある程度長い期間、今後安定操業を続けていくという条件の中には、大きな機器を更新することが盛り込まれています。もちろん大きな機器と言いますと、コンピュータでありますとか、共通設備のクレーンであるとか、そういったものを中心的に更新していかなければいけないという報告書にはなっています。最終的にはそれらにかかるコスト、先ほどご指摘がありましたけれども、コストと財源です。財源につきましては報告書の中では、大きな改良工事につきましては、国の交付金という形で補助金がございます。しかし補助金を受けますと、ある程度の条件と縛りがございます。長寿命化計画に則って行う場合は、国で言うストックマネジメントです。つまり工事にお金をかけますので、それを長く使うということで、10年以上は施設を使わなければなりません。ということなどから交付金を受けて行うのか、受けずになるべく早く次期施設を建設すべきなのか検討しているところでございます。

津島委員

初回の委員会で全体の基本計画、施設整備基本計画と延命化の一覧の図がありましたが、そのときの議論の時に、この基本計画を策定した後の関連で、施設の整備計画はどうあるのか、という議論がありました。それについては明確な説明はなかったようですが、今のお話では、施設の整備計画と延命化計画を併せて今後決めていくという理解で良いのでしょうか。もし具体的にこれらの計画の進め方が決まれば、この基本計画との関連で早く住民に公表するということがよろしいのではないのでしょうか。

事務局 高橋主幹

非常に大きな費用がかかる2つの事業でございますので、その辺につきましてはご指摘の通り、決まり次第公表し、丁寧な説明をして参りたいと考えております。

庄司委員長

今のご意見につきましては、今後の施設整備について貴重なご意見があったということで今後の参考にさせていただければと思います。その他何かございますか。

さて、最後になりますが、本計画（案）をここまで取りまとめてこられまし

た事務局は大変ご苦勞だったことと思います。委員会として心から感謝をいたします。

事務局 岩崎事務局長

ありがとうございます。事務局長の岩崎でございます。庄司委員長はじめ、委員の皆様には1年間、7回の会議、それから三鷹・調布のふじみ衛生プラザ視察研修に参加いただくなど、貴重な時間をいただき誠にありがとうございました。ときには長時間にわたる熱心なご協議、そして活発なご意見が交わされるなど大変意義のある充実した検討委員会であったと思っております。

今後につきましては、委員の皆様にご策定いただきました本基本計画を基に、目標に向かって、また数々の施策、アクションプランも設定いただきましたので、その達成に向けて努力をして参りたいと考えております。

また組合といたしましては管内の印西市、白井市、栄町の小学校にご協力いただきまして、小学4年生を対象に印西クリーンセンター見学会を20年以上実施しているところでございます。今年も管内小学4年生全員1,700人余りの児童が、ごみの収集やリサイクル、また、ごみから出た熱の利用など、クリーンセンターの役割とはどのようなものなのかを知っていただいたところでございます。正に継続は力なりではないかと思っております。今回委員としてお願いいたしました小学校長様、企業の皆様、そして住民の皆様方と構成市町・組合とが一致協力をして、このごみの問題、環境問題に取り組んでいかなければならないと考えております。どうか今後とも皆様のお力をお貸しいただき、引き続きご協力お願いいたします。

最後になりますが、委員の皆様には1年間という長い間、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

事務局全員

ありがとうございました。

(会場から拍手)

庄司委員長

今ごあいさついただきました事務局はもちろんですけれどもコンサルの皆さんにも大変ご苦勞いただいたこと感謝いたします。ありがとうございました。

これからが施設整備の本番になりますので、また基本計画とは別に難しい問題もあろうかと思っております。ぜひ十分に意見を出し合って、いい施設をつくっていただきたいと思っております。

それでは、これをもちまして「印西地区ごみ処理基本計画検討委員会」すべ

での日程を終了とさせていただきます。吉本副委員長、杉山副委員長、委員の皆様方、構成市町の皆様、本当に長い間ありがとうございました。

(会場から拍手)

以上、この議事録が正確であることを証します。

2014年3月24日

委員長

庄司元

会議録署名人

宮島誠一

会議録署名人

梅村隆昭